

2023年度 大阪公立大学大学院看護学研究科 看護実践研究センター 活動支援助成
大阪府における心身障がい児のセクシュアリティ教育と支援を考える多職種連携の会
勉強会 感想

日時：2023年9月30日（土）13：00～16：00

場所：大阪公立大学 I-site なんば CI 部屋

内容：

1. 子どもと支援者間に必要なコミュニケーションとは
(丸本智佳子さん：OPEN THE DOOR コーチングコーチ)
2. 調査「養育者が認知する心身障がい児の性行動の実態と心配度」成果報告

感想 8名（医療3名、教育3名、地域（NPO 団体）2名）

- ・大変勉強になりました、これまでの臨床や教育でやってきたことの整理になりました。
- ・コミュニケーションにより前向き明るい未来を描けるようになればいいなあと思いました。
- ・今日は本当にありがとうございました。私自身が、コミュニケーションについて伝える事も仕事としてやっていますが、再点検させていただけたと感じています。もう一度、自身のコミュニケーションのクセも振り返りながら、今後の仕事に活かせたらと思います。感情語のリストはぜひ参考にさせてください。
- ・コミュニケーションの講演会では、自分の弱みをわかりながら、改善できずの部分を、簡単なワークで再確認しました。日々取り入れながら私生活にも、業務にも活かしてみたいなと思っています。自分に何ができるかなと考えたり、新しい視点を得られたりしたので、参加できて良かったです。
- ・丸本先生のご講義を拝聴し、コミュニケーションのヒントをたくさんいただきました！ありがとうございました。
- ・丸本さんのお話、興味深かったです。私自身、コミュニケーションが得意とも苦手とも思わないですが、誰とも喋るの嫌やなとか、話するの面倒やな、と思うことは多いです。コミュニケーションって、エネルギー使うし、しんどいですね。話し方のパターンとかも気付きました。原因論的な質問パターンを使っていて、ディスカッションもしましたが、原因論的なパターンの方が自分の中ではしっくりくるなあと感じて聞いていました。前向きな感じではないけど、パターン化されてしまっているのかな…と思いました。目的論的な質問の仕方は少しハードルが高いです。
- ・子どもたちに関わる大人のみなさまにコミュニケーションについてお伝えする機会をいただき、ありがとうございました！

- ・楽しくワークもできて、あっという間に過ぎました。コミュニケーションについて本日も学んだことを、日頃の業務に活用することや、自分自身の課題を目的論で考えるなど、活用したいと思います。

皆様の仕事や活動にお役に立つ内容など、今後の会の方向性についてご意見

- ・なんでもまた楽しみにしています。
- ・学齢期を終えた子どものご両親達のご苦勞とか疑問などを聞き取って今の子どもたちに活かせることがあるのではないかな。っと思っています。どうでしょうか。
- ・現場は違えどケース検討などで、いろんな視点が増えないかと思います。
- ・直接お会いできる会があると、刺激になります。機会作って参加するようにしたいと思います。
- ・アンケート回収率の低さは、学校から送られてくるだけでは回答しよう！という気にならなかったのではないかな？と思います。重要な調査だ！と言うことをもっと伝えられたら、協力してくれる方が多かったのかなと思います。校長先生から配布された、イチお手紙とした認識しかなかったのかな、と思います。もしくは、リマインドハガキとかも配布したら、もう少し回収率が上がったのかも知れません。
- ・できるだけ参加させていただき、何かお役にたてることを考えていきたいと思っています。
- ・心身障がいのある子どもたちへの性教育を実際にされている方の話を聞いてみたいです。